



アルミニウムの新しい鋳造装置を開発

～平成23年度素形材産業技術賞を受賞～

連携機関 | 木村工業株式会社

研究期間 | 平成19～21年度[競争的資金研究(サポイン注)]

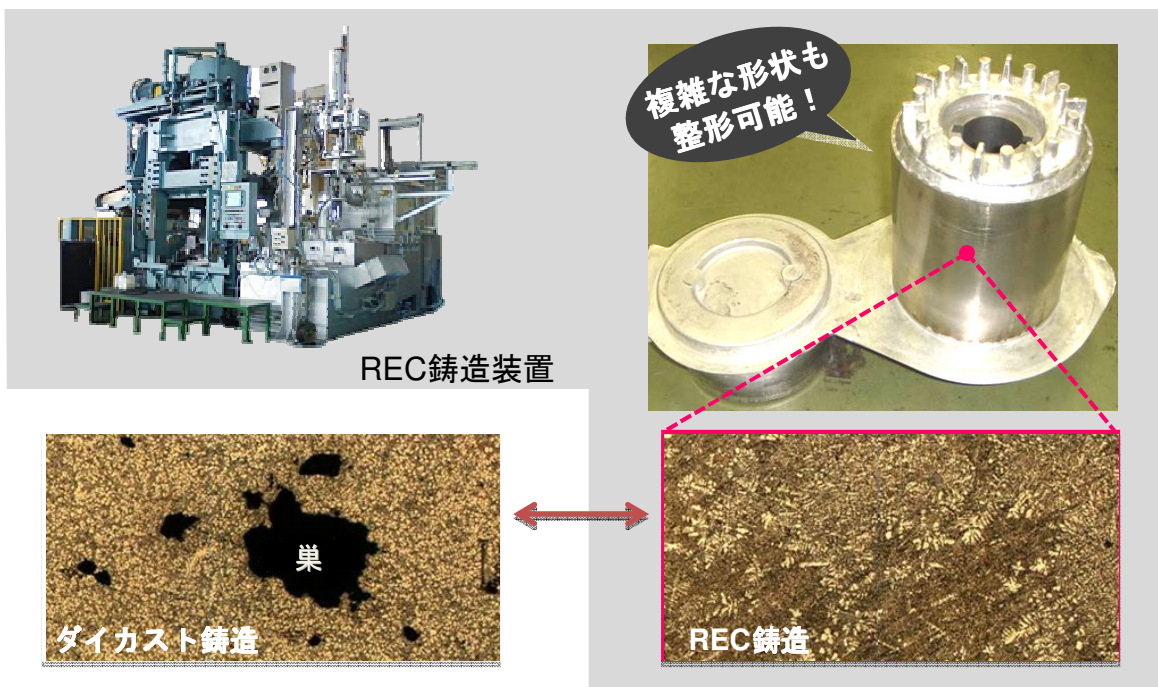
注) 経済産業省 戦略的基盤技術高度化支援事業

研究開発のきっかけ

- ◆ アルミ製品は自動車等の軽量化に欠かせないものです。強度が高く精巧な製品を、速く造ることが求められています。
- ◆ 広島県はアルミダイカスト製品の出荷額全国NO.1。新たな技術は、その地位を強固にできます。

研究成果の概要

- ◆ 既存のダイカスト鋳造は、溶かしたアルミニウムを金型に高圧で送り込む鋳造法です。寸法精度が高く大量生産向きですが、製品の中に「巣」と呼ばれる空隙ができ、強度もばらつきます。
- ◆ 開発した新しい鋳造法(REC法)は、自然にアルミニウムを流し込み、プレスして成型します。「巣」の発生が大幅に削減され、強度の均一化も図れます。
- ◆ 県内の中小企業、公設試では初となる平成23年度素形材産業技術賞[経済産業省製造産業局長賞]を木村工業株式会社とともに受賞しました。



研究成果の活用状況

- ◆ 木村工業株式会社では、REC鋳造装置を商品化し、販売実績もあります。また、同社でも装置を使用して自動車油圧部品や電動機部品を製造・販売しています。

問い合わせ先 | 西部工業技術センター 技術支援部 | TEL 0823-74-1151